

口腔機能低下症とは

最近、お口の不調を感じていませんか？

口腔機能低下症とは、お口の機能（噛む、飲み込む、発音、唾液分泌、感覚）が低下していく症状です。加齢や疾患、障害など様々な要因があり、虫歯や歯周病、義歯不適合などによっても複雑化することがあります。年齢のせいだからと放置していると、ご飯が上手く食べられなくなり、栄養不足になります。そして、全身の不調へと繋がります。



このような事に該当しませんか？

- 口の中が汚れている
- 食事の時にむせるようになった
- 食べこぼしをするようになった
- 薬を飲み込みにくくなった

- 固いものが食べにくくなった
- 食べ物が口に残るようになった
- 口の中が乾くようになった
- 滑舌が悪くなった



これらの症状に3つ以上該当する方は口腔機能が低下しています。

診断方法と維持・向上

診断とケアの指導は歯科医院で行います。

7つの検査のうち3つ以上該当すると口腔機能低下症と診断されます。例えば、唾液の量が少ないと診断された方には唾液腺マッサージやお口の体操の指導等を行います。

また、それぞれの患者さんの特性や症状に応じたお口の訓練が継続的に必要になるので、定期的に口腔機能診断を受けましょう。

気になる方は早めに「かかりつけの歯科医院」に相談しましょう。
当医院歯科でも口腔機能低下症の診断を行っております。
お気軽にご相談ください。

歯科衛生士 五島

掲示許可シール
貼付スペース